

### 「2025春闘」既存の乗務員が退職しない賃金・労働条件を勝ち取ろう！ 東洋交通労働組合・共済組合 共催 2025年 旗開き・新年会



東洋交通労働組合  
菊池るみ執行委員長

団結を誓い新年を祝う！

2025年1月19日、池袋のホテルメトロポリタ  
ンにて『東洋交通労働組合・共済組合共催 旗開  
き・新年会』を開催しました。ご来賓を合わせ12  
2名が参加し、ホテルの豪華なコース料理を堪能し  
ました。毎年行われる『大抽選会』では家電や「温  
泉旅行ペアチケット」「松坂牛1kgセット」「ク  
ルージングディナーペアチケット」などの豪華景品  
を取り揃え、今年初参加の組合員も大いに盛り上が  
りました。ご来賓には全自交労連の溝上中央執行委  
員長をはじめ、全自交東京地連の内田委員長、日交  
グループ連絡協議会の仲間や、経営側からは日本交  
通の若林社長にご臨席と、ご祝辞を賜りました。

#### 2025年の矜持を持ち 万能一心丁寧に取り組もう！

昨年は能登半島地震、羽田空港航空機衝突炎上事  
故と暗いニュースから始まる年明けでした。被災さ  
れた方には、今もなお不便を強いられ正常な日常を  
を取り戻せていない方もいる中で、この事実が風化  
されず、教訓化されることを願い心を寄せていきたく  
と思います。そして、航空機の衝突炎上事故で  
は、乗客・乗務員合わせて搭乗していた379名の  
全員を、乗務員の誘導によりわずか10分で脱出さ  
せました。日頃の訓練の賜物であると同時に、炎上  
する航空機で恐怖を感じながらも乗客の命を守った  
JALの乗務員さんたちに、同じ旅客運送業の立場  
から心よりの敬意を表します。昨年、日本交通グ  
ループでは健康起因の死亡事故が発生し、亡くなら  
れたお客様と乗務員さんにはご冥福をお祈りし、二  
度と起らないことを願い、組合員の皆さんにも意  
識の共有をお願いしたいと思います。

昨年はタクシー労働者の賃金が全産業労働者を  
上回るなど、タクシー不足、稼働力不足がタク  
シーパブルといわれる状況を生み出しました。タク  
シーに乗れないという状況を解消するため、昨  
年4月から「日本版ライドシェア」が開始され、  
タクシー乗務員の採用にも二重免許の取得要件緩  
和や地理試験を廃止するなど、ハードルを下げ全  
力で乗務員不足の解消に取り組んだ結果、都内  
では1万人以上の乗務員登録数が増えています。東  
洋交通でもコロナ前を上回る乗務員の採用があ  
り、組合員数も一時期過去最高値を記録しまし  
た。稼働への協力、シフト変更、出番変更への不  
満から東洋を去る乗務員が後を絶ちません。採用  
に尽力いただいている会社の努力には感謝申し上  
げますが、いくら入社させても、その分即戦力を  
失っては人材と採用経費の浪費に他なりません。  
既存の乗務員を退職させない努力も必要です。更  
に採用要件の緩和では、プロとしての質の低下を  
招いていることも事実。昨年1年は稼働優先で  
あつたことは否めませんが、アフターフォローは  
必ず行う必要があると日々感じています。会社の  
教育は当然ですが、その重要性を発信し、参加し  
ていくことも労組の役割だと思っています。

「日本版ライドシェア」や「相乗りサービス」  
に加え、「自動運転タクシー」も近い将来実現す  
るであろう新たな移動サービスと共存する時代が  
迫っています。そんな時代にこそ私たちプロのタク  
シードライバーが提供する「安全、安心、快適  
輸送」と「人にしかできない品質のサービス」と  
いう付加価値が強力な武器となります。

タクシー業界は変化し、成長し続けています。  
タクシー業界に従事する全員がしなやかな柔軟性  
を持ち、前向きに変化に取り組む、更なる高みを  
目指さなければ、成長も発展もありません。

#### ●2025春闘に向けて

これから始まる「2025春闘」では労組とし  
て、既存の組合員、新人組合員すべての組合員が  
「東洋交通に入社して良かった」と実感できる  
ような賃金・労働条件の改善と、共済組合として  
は、福利厚生の実を図って参ります。本年も組  
合員の皆様のご理解、ご協力をお願いします。

(裏面に続く)



日交グループ連絡協議会 青木 康至 議長  
 全自交東京地連 内田 亨 執行委員長  
 日本交通(株) 若林 泰治 代表取締役社長



全自交労連 溝上 泰央 中央執行委員長  
 全自交労連の 溝上泰央中央執行委員長はライドシェア新法制定を阻止できたことに感謝しつつも「ライド

勢の結果、2種免許の要件緩和や、東京では地理試験の廃止、日本版ライドシェアが開始されることになった。長年使命と矜持を持ち、取り組んできた公共交通に従事する安心、安全、そしてタクシードライバーの価値を大きく下げる危険信号がともっている」との認識を示し、引き続きライドシェア反対の取り組み強化を求めました。また、運賃改定について「東タク協との協議で、6月にも東京都特別区・武三地区で運賃改定を要請することになっているという。物価上昇もあって適正価格の運賃をいただく必要があるが、運賃改定が実施されてたとしても、その運賃がお客様から高いと言われてしまう接客接遇は望ましくない。全自交労連は新しい時代を突破できるようハイタク産業の先頭に立ち、運動を進めていく」と表明し、理解と協力を求めました。



内田幸さん、杉元和男さん、常盤周作さん、日交横浜労働組合の藤澤副執行委員長、湊書記長お手伝いありがとうございました！



今年の年男・年女には祝い菓子が配られましたおめでとうございます！



全自交労連 本田 有 書記次長

### 赤い羽根共同募金

連合東京から要請を受け、会場では12,872円の募金が集まりました。解決一時金の残金から7,128円を追加し、合わせて30,000円を東京都募金会を通じ、子供から高齢者の社会福祉サービスに必要とする方々へ寄付をしました。ご協力ありがとうございました！

恒例の『大抽選会』では、来賓の方々から抽選をして頂き、2人に1人の割合で豪華景品が当選しました。初参加の新人組合員も毎年参加の組合員も豪華なコース料理に舌鼓を打ちながら大盛況でした。来年も旗開きを開催できるように、本年の組合活動にも「理解・ご協力をお願いします！」

全自交労連の本田有書記次長は2025年春闘の取り組みについて「他産業に勝てる産業労働水準を目指す」ことを基本的な考え方とし、産業としての適正価格を収受、その上でタクシー乗務員などの賃金水準を引き上げていく方向を示しました。また、「単年にとどまらず、中期的な水準とし継続させ、ハイタク産業が他産業に負けない労働力を確保できるような産業構造を目指すための起点とした」と強調しました。



## 豪華景品 大抽選会！